

2014年6月5—6日
RSSC ウィメンズクラブ

安曇野合宿報告

日時 2014 6月5日(木) 6日(金)
場所 長野県 安曇野市(合宿勉強会)
参加者 ウィメンズ会員 7名 (北澤 小杉 内藤 川口 福井 斉藤 夏目)
テーマ 相馬黒光 いわさきちひろの生き方に学ぶ
長野県 安曇野に縁のある 相馬黒光といわさきちひろにスポットをあて合宿勉強会実施
行程 1日目 (6月5日)
穂高神社→道祖神→早春賦の碑→大王わさび農園→安曇野絵本館→碌山美術館

安曇野絵本館



スノーマンの世界展 開催中

お茶をしながらオーナーからお話を伺う
オーナーは立教出身の方で大人のための絵本を展示されています。

碌山美術館

日本近代彫刻の扉を開いた萩原守衛(碌山)



展示の『女』を見ながら

相馬黒光への萩原碌山の恋慕の情に思いを馳せる

勉強会

夕食後 午後8時より勉強会開催 各自、事前学習の資料 参考本 レポート持参
参考本・「中村屋のボース」「アンビシャスガール 相馬黒光」等
男勝りの激しい女性のように思われる相馬黒光への感じ方をメンバー同士活発に意見交換
ができた。黒光の内面にすこしは近づけた思いです。

・意思を通して曲げない強い人(女)

- ・夫たる相馬愛蔵の手の中でわがままを通した 愛蔵さんの器量がとてつもなく大きい
- ・芸術に深い理解と人道支援をした人（芸術家支援 インド革命家人道支援）
- ・世の中の変えようと努力した人（キリスト教に精神的革命を求めた）

時代背景を考えると女性が意見をいうことが難しかった時代です しっかり自分というものを持っていた相馬黒光はやはり女性史には残る方だと思いました。

2日目 （6月6日）

安曇野ちひろ美術館

「二度と戦争は起こしてはならない」との強い思いのメッセージを残された絵画から感じ取ろう

世界中のこども みんなに 平和としあわせを



学芸員さんから、いわさきちひろの生涯の説明を受ける

青春時代に戦争を経験したちひろはベトナム戦争に深く心を痛めた

「戦火の中の子供たち」のちひろの絵を見ると

胸が締め付けられる。静かだけれど激しい反戦への思いに胸を突かれる

日本にある米軍基地からベトナムに飛び立つ爆撃機に日本も加担者だという思いがあったに違いない。

「これから先もずっと。。。 戦争に子供が巻き込まれない世界でなければならない」という思いを強く持ちました。

まとめ

今回 相馬黒光 いわさきちひろの女性としての生き方をメンバーとの意見交換をした。いつの時代でも、一人の人間としての信念の強さが自分を生かすということではないだろうか。

夏目由美子 記